

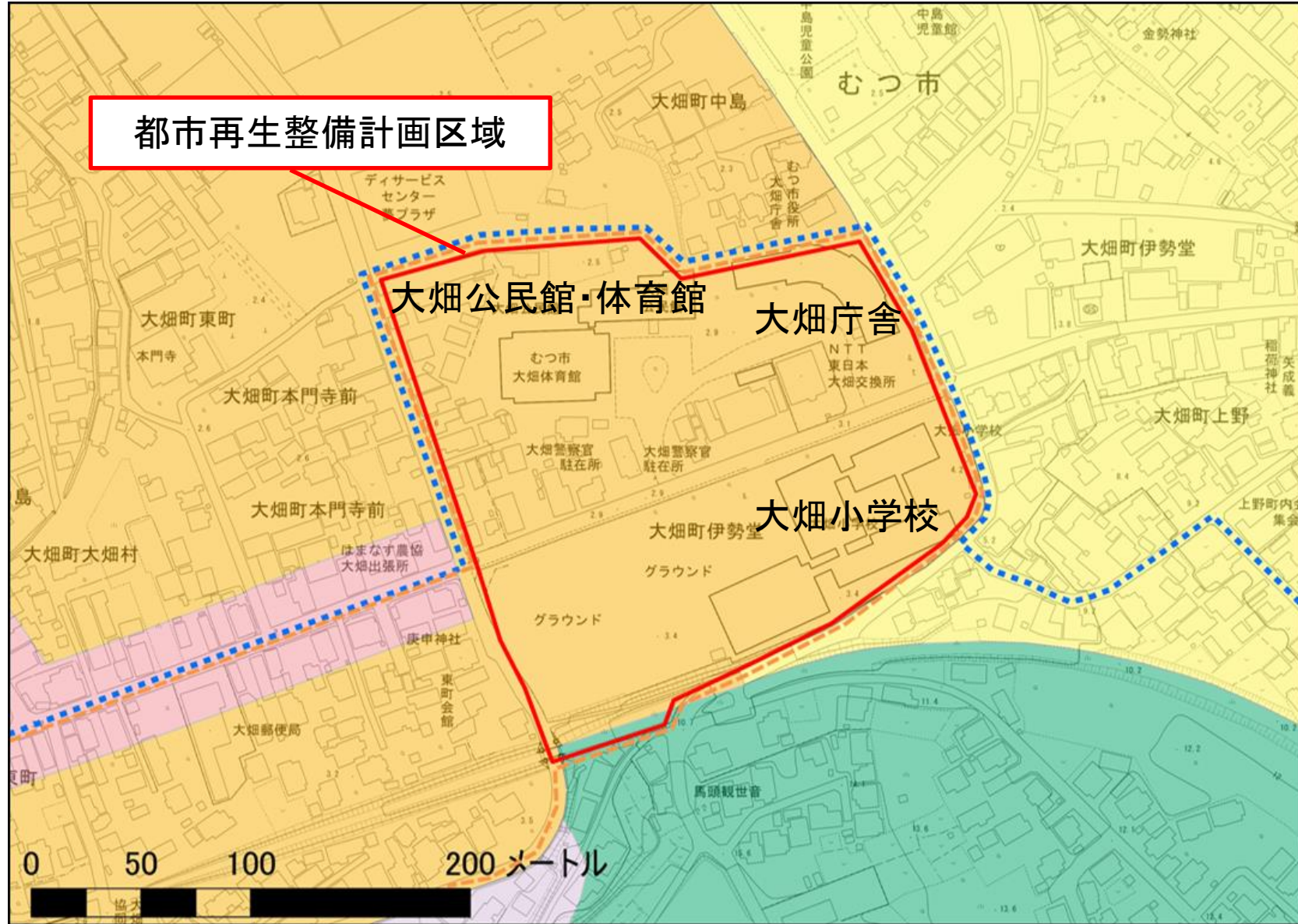
大畑都市拠点地区都市再生整備計画

事後評価【概要版】 (原案)

令和5年12月
おつ市

都市再生整備計画の概要

◆ 計画区域



◆ 計画概要

【地 区 名】 大畑都市拠点地区

【面 積】 5ヘクタール

【交 付 期 間】 平成30年度～令和4年度

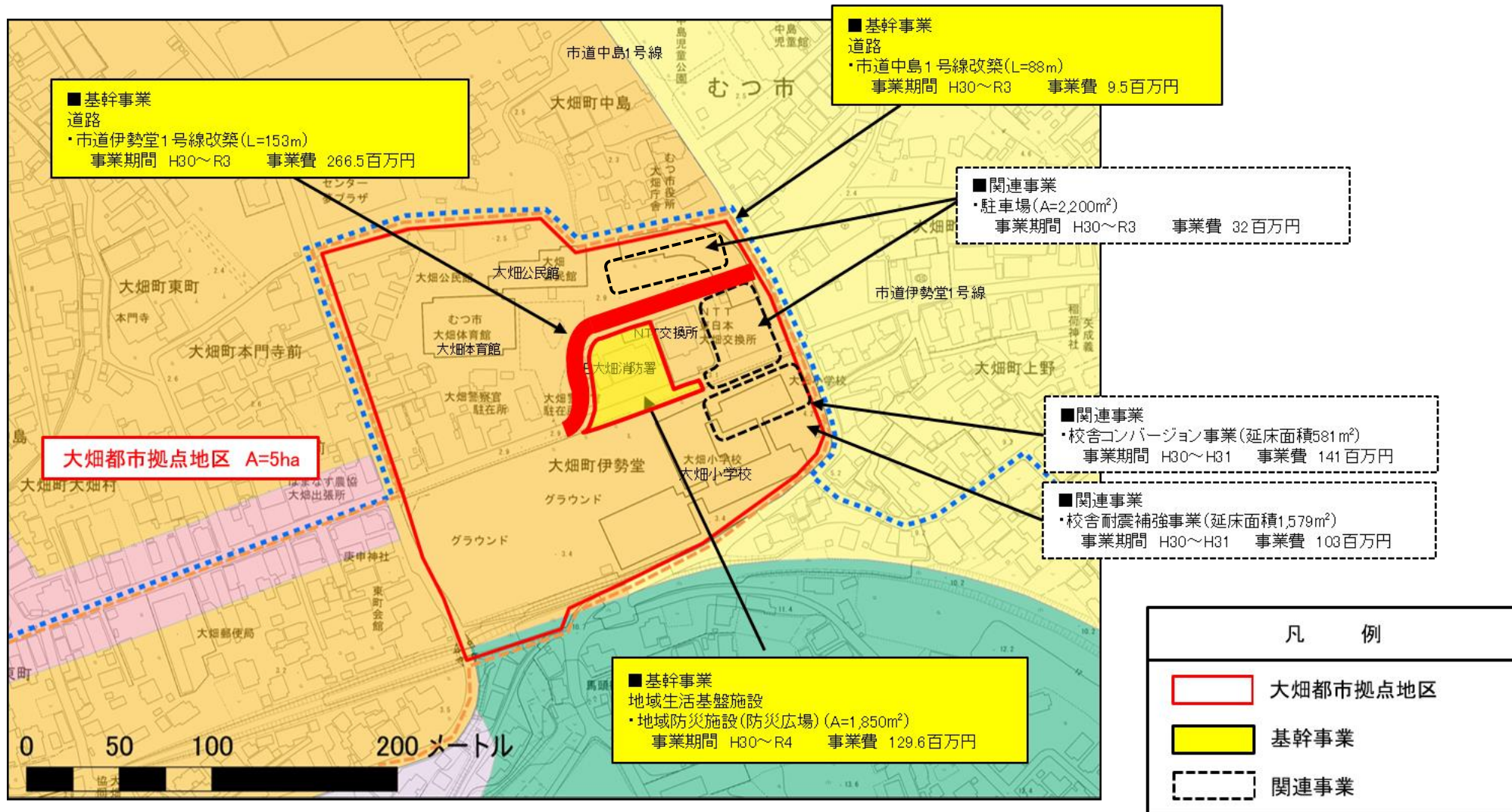
【交付対象事業費】 405.6百万円

【国 費 率】 49.7%

【目 標】

- ・公共施設の統廃合による既存ストックの有効活用と公共施設維持管理費の縮減
- ・まちの魅力の向上と安心して暮らしやすいまちづくりによる居住誘導区域人口密度の維持

◆ 整備方針概要図



◆ 基幹事業（道路）



◆ 基幹事業（地域生活基盤施設）



防災広場



かまどベンチ



マンホールトイレ

◆ 関連事業（駐車場整備・校舎コンバージョン・校舎耐震補強事業）

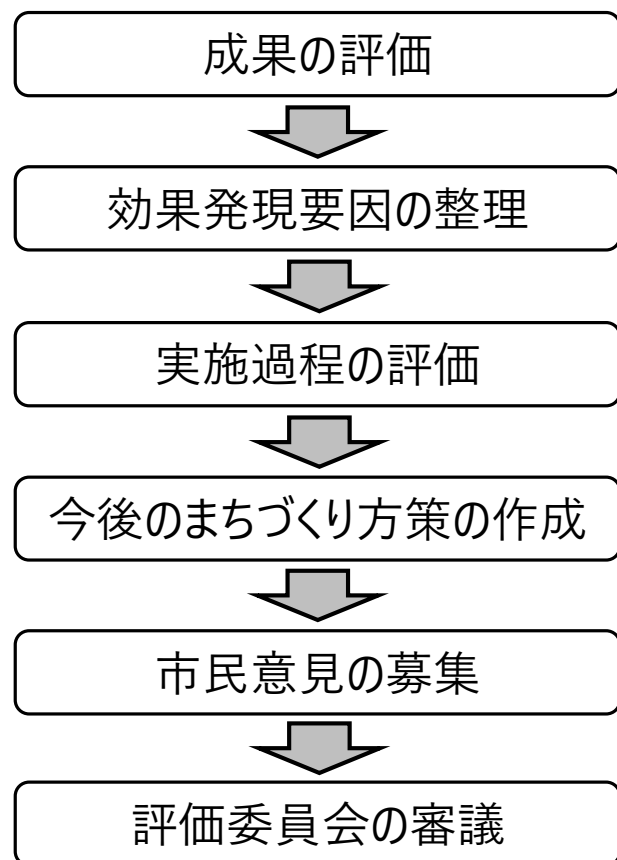


事後評価の概要

◆ 事後評価のポイント

都市再生整備計画に基づく事業は、交付期間終了後の効果の持続や今後のまちづくりへの展開を図るため、**まちづくり目標に対する達成状況の確認**や、**効果発現の要因を整理**し、**今後のまちづくり方策を検討**することとされている。

事後評価の手順



評価委員会の審議は、市による事後評価等が適切に遂行されたことを中立・公平な立場で確認していただき意見を求めること、及び今後のまちづくり方策等について意見を求めることを目的に開催することが望ましいとされている。

◆ 成果の評価及び効果発現要因の整理

指標 1 : むつ市役所大畑庁舎維持管理費の縮減率

● 指標の達成状況

指標	単位	従前値 (H28)	目標値 (R4)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
縮減率	%	0	60.0	67.8	○	

● 効果発現要因（総合所見）

大畑小学校の空きスペースを活用したことにより、学校との一体管理による効率的な管理が可能となったため、大畑庁舎の維持管理費が低減された。

◆ 成果の評価及び効果発現要因の整理

指標 2 : 大畑地区居住誘導区域人口密度

● 指標の達成状況

指標	単位	従前値 (H29)	目標値 (R4)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
人口密度	人/ha	21.7	21.7	18.5	△	なし

● 効果発現要因（総合所見）

全市的な人口減少の進行が直接的な要因と考えられるが、庁舎周辺道路等の整備による居住環境の向上によりある程度の効果はあったと考えられる。

◆ 成果の評価及び効果発現要因の整理

指標 3 : 暮らしやすさ満足度

● 指標の達成状況

指標	単位	従前値 (H29)	目標値 (R4)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
満足度	%	45.4	70.0	38.7	×	なし

● 効果発現要因（総合所見）

道路の位置変更などに慣れない住民が多く、また、~~全市的に人口減少などにより暮らしやすいと~~いう実感がわいていないことが想定される。

◆ 成果の評価及び効果発現要因の整理

定性的な効果発現状況

- 旧大畑庁舎跡地に駐車場が整備されたため、周辺公共施設の利便性の向上が図られた。
- 庁舎及び学校から駐車場までを一帯の敷地とすることで、小学校の児童や庁舎利用者の安全性と利便性が図られた。



◆ 実施過程の評価

● モニタリング

- 実施なし

● 住民参加プロセス

- 整備検討会を開催（全3回）
旧大畑庁舎の老朽化に伴う今後の庁舎整備にあたり、市民や関係団体等のニーズやアイデアを把握した。
- 住民アンケートを実施（全2回）
事業の取り組み効果等を検証するため、住民アンケートを実施した。

● 持続的なまちづくり体制の構築

- 実施なし

◆ 今後のまちづくり方策

● まちの課題の変化

- 大畑庁舎が大畑小学校の空きスペースへ移転したことにより、小学校との一体管理による維持管理の効率化により、維持管理費が縮減された。
- 大畑小学校の空きスペースの一部をコンバージョンして大畑庁舎へ機能転換したことにより、駐車場など周辺環境が整備され都市機能が強化された。
- 防災広場の整備により、一時避難所としての機能が強化された。

● 今後のまちづくり方策

- 今後は施設の持続可能な維持管理に努める。
- 防災広場の活用を推進するため、自主防災組織による防災訓練やイベント時の体験会などを行う。